



熱海市役所泉支所竣工記念作品

「水面の景」



熱海市役所泉支所は、風流な千歳川が近く、蛍や鮎釣りなどが楽しめる熱海の中でも自然豊かな場所です。熱海市の泉地区に相応しい千歳川の水面のイメージを陶板とスタンドグラスという二つの技法で表現しました。二つの作品は泉支所に程近いクラーレ熱海ゆがわら工房にてひとつひとつ手作りで制作されたものです。

○陶板レリーフ



伊豆湯河原温泉観光協会 寄贈

日本の伝統的な焼き物（陶）の素材、技法にクラーレ独自のアレンジを加え制作したもので、川面に広がる水紋を立体的な陶造形（かたち）と味わい深い釉薬（いろ）で表現しました。このかたちといろを永遠のものにするために高温（1230度）で焼成していますが、その時に釉薬（いろ）が溶けて陶（かたち）の凹凸に流れ込んだり、あるいは溜まったりして面白い効果を生みました。この偶然のおもしろさも陶板レリーフの魅力のひとつです。

タイトル:「水面の景」

サイズ: 約W650mm × 約H480mm

陶板の厚さ20mm~50mm

素材: 陶板及びステンレス板

制作: クラーレ熱海ゆがわら工房

○スタンドグラス



クラーレ熱海ゆがわら工房 寄贈

光の芸術とも呼ばれるスタンドグラスは、刻々と変わる光に合わせて季節ごとに、あるいは朝に夕に様々な美しさを見せてくれます。

この作品は、光の変化とともに多様な表情を見せる最も美しいガラスとして知られているドイツ製手吹きガラスを用いて制作しました。

こちらにも水紋をリズムカルな線と青ガラスのバリエーションで表現しています。また、陶板レリーフと同様にガラスの色も永遠に色褪せることはありません。

タイトル:「水面の景」

サイズ: W560mm × H1310mm

素材: ドイツ製手吹きガラス、他

制作: クラーレ熱海ゆがわら工房